

様式第2（第9条関係）

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和8年 7月27日

犬 山 市 議 会
議 長 大 澤 秀 教 様

議員名 鈴木 伸太郎

下記のとおり、展示会他調査の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和8年 7月 8日(水) ～ 7月 9日(木)
(2) 場 所	東京ビッグサイト・横浜市・衆議院会館他
(3) 形 態	会派 () : その他 (鈴木のみ)
(4) 内 容	① 自治体総合フェア（情報収集） ② 神奈川県地方自治研究センター（情報収集） ③ 衆議院会館・山下事務所（農水省よりレクチャー） ④ 三井住友信託銀行松藤氏（情報交換） 報告書別紙
(5) 成果・提言	報告書別紙

出張報告書 令和8年7月8日～7月9日

- ① 東京ビッグサイト・・・自治体総合フェア
- ② 神奈川県地方自治研究センター・・・情報収集
- ③ 衆議院会館（山下事務所）・・・農水省よりレクチャー
- ④ 元自治省・現三井住友信託銀行調査役 松藤氏・・・情報収集

① 自治体総合フェア

自治体向けの展示会で情報収集を行なった。トレンドとしては、やはりデジタル。その活用で効率化省力化、窓口業務の時短等の製品が主流で、新しい視点での製品はあまり見かけられなかったのは残念。以下、概要。

- ・地域社会 DX ナビ（総務省）・・・総務省が展開するポータルサイト。優良事例、知見、ノウハウなどを配信。その他、DXに関する自治体向けサービスの紹介。
- ・水道管漏水調査製品・・・以前、講習をうけた人工衛星による漏水調査では、200メートルメッシュまでしか探索不可能であったが、ピンポイントで調査可能な製品。
- ・ニュー農園・・・小金井市、日野市での都市型小規模農園の紹介。都心の新しい農業スタイルを展開している。
- ・未来の図書館研究所・・・新しいコンセプトの図書館づくりをサポート。
- ・官民連携プラットフォーム・・・展示会の新しい取り組み。全国の自治体が、それぞれ抱える課題をプレゼンし、それに応じる企業を探す企画。自治体や自治体職員の課題解決に向けた姿勢が新鮮でエネルギッシュ。

犬山市への提言

従来と似たようなサービスが目立ったので、大きな収穫と言えるものはあまりないのが正直な印象だが、農業、図書館、などは、今後新たな流れとして抑えておくべき視点。以前から提案し続けてきた物品の発注支払いシステムは、すぐに実施に向けて取り組むべき。

- ② 神奈川県地方自治研究センターにて、都市部の小規模農業の現状、新たな取り組みについて取材。主な成果は以下のとおり。
 - ・「ローカルサーキュラーエコノミー」の取り組み。横浜市金沢区、地域野菜がどのような経済効果を発揮しているかを調査し、評価する取り組み。
 - ・「かながわホームファーマー事業」の取り組み。
 - 農業の担い手の高齢化、後継者不足などによる耕作放棄地対策。

耕作されなくなった土地を県が借り受け、農業に意欲的な県民に貸し出す。

- ・藤沢市「農業と連携した街づくりの推進」市内の特産品である花きや植木を活用した地域緑化の促進、地産地消レストランや農産物直売所の設置、大学企業とのコラボ。
- ・「超高齢社会と農ある暮らし」伊丹市、ふじみ野市、市川市、小平市、国立市、亀岡市等での事例紹介集。

犬山市への提言

大都市近郊での取り組みが進行している現実を知った。私自身実践している小さな農業の方針と合致している地域も多数。犬山でも、引き続き今までの取り組みを継続して、「犬山の農業」活性化まで道を作り続けたい。

- ③ 衆議院会館（山下事務所）にて、今回の出張のテーマの一つである都市農業、耕作放棄地対策、後継者対策などについて農水省よりレクチャー。

- ・国は、市街化区域内の農地の保全について積極的。
- ・都市農業の農地面積は対全国比1.3%、農業産出額は1.8%。名古屋地区の都市農業の内訳は、米18%、野菜55%、果実11%。
- ・平成27年都市農業振興基本法制定、都市農業の安定的な継続、都市農業の有する機能の適切、十分な発揮（良好な都市環境の形成）に舵を切る。
- ・農業支援サービスの育成加速化支援・・・補助制度新設

※その他、大規模化、スマート化、IT化に向けた国の施策の説明も受けた。

犬山市への提言

担い手の育成

防犯、良好な景観の形成並びに国土及び環境の保全

農産物の地元での消費の促進

農作業を体験できる環境の整備

学校教育における農作業の機械の充実

- ④ 元自治省・現三井住友信託銀行調査役、松藤氏に面会、情報交換をおこなった。

先方からは、災害、事前防災、公園、学校等に活用できるコンテナハウスの提案を受けた。アジア大会の宿舎として活用される建造物で、いわゆる仮設住宅よりかなり居住性が高いとのこと。

私からは、横浜市在住、都心勤務の松藤氏の都市農業に対する考えを取材。

犬山市への提言

コンテナハウスについては、7月末に市へ概要を説明予定。

以上